

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	農業集落排水事業			
担当課係名	下水道課	総務係	作成者	吉田稔
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ 77
	基本計画	下水道の整備と水洗化の普及		
	主要施策	集落排水の整備		
予算費目	集落排水事業特別会計	2款 事業費	1項 農業集落排水事業	1目 事業費
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度		新規/継続の区分	中止
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input checked="" type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	土地改良法・下水道法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	・集落排水処理区域内の世帯及び事業所
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	・農業集落排水水処理施設の整備により、農村の生活環境の改善を図るとともに、公共用水域の水質保全を図る
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・下水道管渠(污水管)の整備

## 【事務事業の推移】

		項 目	単 位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	農集排処理区域内の人口	目標	人	4,737	4,706	4,643
			実績	人	3,006	4,689	4,577
			達成度	%	63.5%	99.6%	98.6%
	成果指標	農集排処理区域内の水洗化率	目標	%	63.50	64.00	65.00
			実績	%	63.40	64.20	64.20
			達成度	%	99.8%	100.3%	98.8%
投下コスト	項 目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		10,420,464	270,888	344,891	92,079	
	人 件 費 (B)			8,071	7,925	8,057	
	職 員 数			1.00	1.00	1.00	
	職 員 平 均 人 件 費			8,071	7,925	8,057	
	(A)+(B) 投下コスト			278,959	352,816	100,136	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		4,281,685	126,250	151,500	44,440
		県 支 出 金		0	0	0	0
		地 方 債		4,883,600	140,700	189,000	44,400
		そ の 他		14,702	87	40	40
		一 般 財 源		1,240,477	11,922	12,276	11,256
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)			92,801	75,243	21,878	
	市民1人当たりのコスト(円)			8,874	11,365	3,273	

【事務事業の今までの成果】

農集処理区：戸沢・桧木内・西明寺・西明寺西部・西明寺南部・前郷・田沢（平成21年度完成）  
 整備済面積：324HA  
 整備済人口：5,080人  
 水洗化人口：2,939人

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	下水道事業を取巻く状況が変化してきており、整備の時代から維持管理時代へ移り、地方公営企業として経営されてきた下水道事業についても、その財政負担のありかたや、事業経営のありかたについて厳しい目が注がれている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	環境保護意識の高まりを背景に、下水道事業の必要性は認識しているが、整備のための莫大な事業費用及び個人負担も多くかかるため、一部の住民には理解が得られていない。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>C 3</b>	A 現状のまま継続（実施）	田沢地区が完成し、今後、（森腰・荒町）については、初期投資が合併浄化槽に比べて多額の費用が必要であため一時中止し、説明会及びアンケート調査を実施し、見直しを検討する必要がある。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

集落排水事業は、浄化総事業に比べて初期投資と歳月を要するため、説明会及びアンケート調査を実施した結果をふまえて、見直しを検討する必要がある。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>C 3</b>	初期投資が合併浄化槽に比べ多額であり、今後予定されている地区への対応を検討するとともに、加入率の向上対策が必要と考えます。

